



一般会計173億円

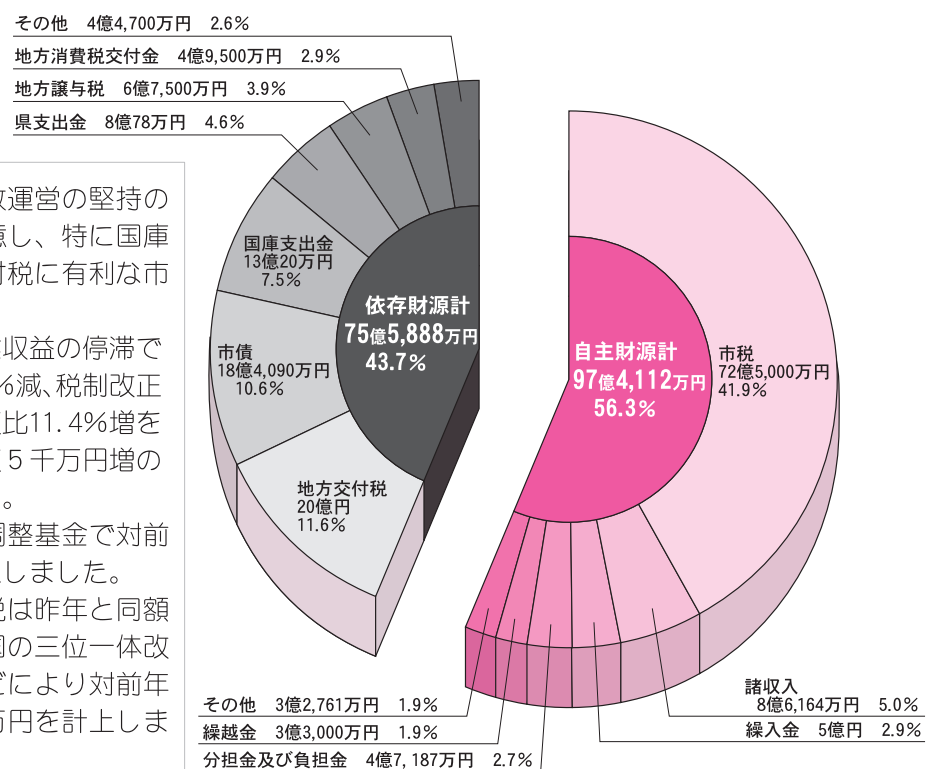
歳入

全般的に、持続可能な財政運営の堅持のため、特定財源の確保に留意し、特に国庫支出金、県支出金および交付税に有利な市債を積極的に活用しました。

自主財源では、市税は企業収益の停滞で法人市民税が対前年度比8.4%減、税制改正に伴い個人市民税が対前年度比11.4%増を見込み、市税全体で対前年度5千万円増の72億5千万円を計上しました。

また、基金繰入金は財政調整基金で対前年度1億円増の3億円を計上しました。

依存財源では、地方交付税は昨年と同額を計上し、地方譲与税は、国の三位一体改革に伴う所得譲与税の増などにより対前年度比53.4%増の6億7,500万円を計上しました。



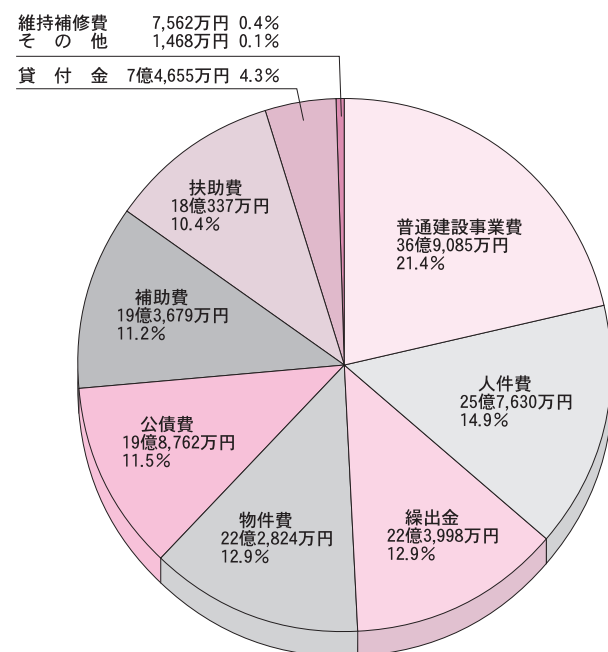
歳出 (性質別)

全体では、ソフト事業の充実を図るとともに、経常経費の節減や事務事業の重点化により、健全で堅実な予算編成に努めました。

人件費は、調整手当の全廃をはじめ、職員数の純減、議員定数の減、収入役の廃止などにより対前年度比5.4%減を計上しました。

一方、パブリックコメントを活用し、市民参加のまちづくりを進めるとともに、経費節減のため指定管理者制度を導入します。

普通建設事業費は、まちづくり交付金事業のほか、神明森山線整備、山之上小学校校舎増築、山之上コミュニティセンター新築など国庫補助金を生かした積極型予算としました。



■予算編成の留意点

平成18年度予算は、「人にやさしいまち・だれもが住んでみたいまち美濃加茂」を実現するための事業に重点を置きました。

特に、子育てにやさしい環境、障がい者・高齢者にやさしい地域福祉、幹線道路の整備、恵まれた観光資源の有効活用、安心安全な地域づくりなどに重点的な配分を図り、真に市民の皆さんが望むサービスの向上に最大限配慮しました。

■予算編成の基本方針

★第4次総合計画の基本方針を具現化する事業のさらなる推進

- ・住んで誇れる「環境都市」のまちづくり
 - ・時代を拓く「教育文化」のまちづくり
 - ・安心安全に暮らせる「健康福祉・環境」のまちづくり
 - ・交流のさかんな「産業経済」のまちづくり
 - ・みんなでつくる「市民参加」のまちづくり
- ★重点的かつ効率的な配分により「人にやさしいまち・だれもが住んでみたいまち美濃加茂」を実現
- ・元気で活力に満ちた美濃加茂
 - ・安心して快適な暮らしができる美濃加茂
 - ・市民に便利・市民にオープン・市民が納得の市政

■平成18年度会計別予算

単位：万円・%

会計名	平成18年度	平成17年度	差引増減	増減率
一般会計	173億0,000	166億0,000	7億0,000	4.2
特別会計				
国民健康保険会計	40億8,423	39億4,851	1億3,572	3.4
介護保険会計	22億8,286	22億4,957	3,329	1.5
老人保健会計	36億8,284	39億4,194	△2億5,910	△6.6
下水道事業会計	32億4,015	33億2,626	△8,611	△2.6
東海環状自動車道工事残土処分事業会計	2億8,500	5億5,600	△2億7,100	△48.7
介護認定・障がい者自立支援認定審査会計	4,487	0	4,487	皆増
計	136億1,995	140億2,228	△4億0,233	△2.9
水道事業会計	27億5,672	23億1,376	4億4,296	19.1
合計	336億7,667	329億3,604	7億4,063	2.2

注：平成17年度の下水道事業会計欄は、公共下水道事業会計、特定環境保全公共下水道事業会計および農業集落排水事業会計を合計して記載しました